

八王子市市民活動支援センター

平成28年度事業報告

八王子市市民活動支援センター
センター長 大山 健三

はじめに

地方分権改革の流れの中で、中核市への移行、そして介護保険法の改正から2年目を向かえた今年度は、八王子のまちづくりに様々な動き、取組みの芽吹きがありました。地域を包括的に支える仕組みづくりや郊外団地、過疎進行地域などでコミュニティ再生の動き、そして貧困の連鎖、格差問題などに取り組む子ども食堂、無料塾、フードバンク事業の立ち上げなどの積極的な取組みは、今後の持続可能な社会をつくるために多くの期待が寄せられています。

八王子市市民活動支援センター(以下支援センター)はこうした動きに、「はちコミねっと」の利用普及、団体交流会の開催、ファンド事業での「人財」マッチングによる伴走支援など新たな取組みを加えながら、今年度も引き続き、市民活動、NPO活動のサポート、情報の発信を行いました。また、市制100周年のプレ記念事業として開催した第4回市民活動フェスティバルは、引き続きNPO法人八王子市民活動協議会が中心となった実行委員会によって市に提案され、市制100周年記念市民提案事業「八王子NPOフェスティバル」として来年度5月開催されることになりました。

1. 企画運営会議の開催

四半期毎に1回開催しました。会議の目的は、支援センター四半期毎の活動報告並びに事業運営に関する事項を、指定管理者である八王子市民活動協議会(以下協議会)と協議、意見交換し支援センターの適正な運営やサービス機能向上を図ることです。

評価と課題

今年度は、「八王子コミュニティ活動応援サイト」の普及活動や新しく着手したファンド事業での「人財」による団体活動の伴走支援事業についての手法や課題等について協議しました。また、今後の事業の参考にすべく行った市外近郊の市民活動支援センターの訪問ヒヤリング結果について協議し、支援センターのコーディネート力向上やニーズ把握に努めることにしました。

2. 支援センター月例会議の開催

毎月1回、月初めにセンタースタッフが一同に会した月例会議を開催しました。会議の目的は支援センターの利用状況確認、各部活動報告及び予算執行状況の確認とともに業務全体及び各部門の課題や取組みについて検討・意見交換を行い、課題の共有化等です。

評価と課題

常勤、非常勤混在の勤務体制のため、スタッフ同士の連携、情報共有は不可欠で、会議内容が報告や確認が多くなる傾向にありますが、それに止まらず貴重な時間を様々な討議を通じて、ニーズに対応したサービス向上やセンタースタッフのレベルアップに役立てます。

3. 情報セキュリティ委員会

様々な実施事業をとおして市民や団体から、個人の特定につながる可能性のある「氏名」、「住

所」、「電話番号」、「メールアドレス」等を利用目的を明らかにしてデータや紙ベースでお預かりし、その範囲内で使用しています。こうした個人情報適切に管理し、紛失、改ざん及び漏えい等の事故を起こさないことは、関係市民、団体との信頼関係の基本であると認識しています。

評価と課題

法令や情報セキュリティマニュアルを遵守し、組織内のPDCAを回し、適正な情報管理に努めます。また、「人財」による伴走支援で、プロボノワーカーの個人情報等についてもマニュアルに沿って厳格に管理します。

4. NPOの基盤強化支援の充実

団体の基盤強化、信頼性の向上による市民活動の活性化、社会的認知の向上等その自立支援のため、団体運営の基本(ミッション、運営、情報発信、会計)等、実務的内容で「NPOパワーアップ講座」を実施しました。また、「ゆめおりファンド事業」では引き続き情報開示を基本的条件として、寄贈を受けた物品を無償提供し、団体の資金負担軽減をサポートすることができました。

また、今年度より、団体運営の伴走支援として、ノウハウやスキルを生かして地域参加、社会貢献を考えている「人財」によるプロボノ事業を開始しました。

評価と課題

「NPOパワーアップ講座」は団体基盤強化としてのベーシックなカリキュラムを守りつつ、講師や進め方を工夫しました。また新しく着手した「人財」による団体伴走支援は2団体のサポートをすることができましたが、この事業はNPO活動を社会が支える環境を進めるためでもあり、さらに人財、NPO、企業などと連携、交流を推進することが必要です。

5. 調査研究活動

市民活動に関する多様な相談に対応すると共に、効果的な事業を提供するためには社会環境の課題やNPO、市民活動の実態把握が大変重要であり、スタッフは積極的に外部イベントや講習会等へ参加しました。また、市民満足度調査結果をホームページに公開しました。

評価と課題

市民利用満足度調査では、「満足」、「やや満足」で96.2%の回答をいただきました。引き続き利用者満足度の維持向上に取り組みます。また、社会ニーズが多様化し、地域を包括的に支える仕組みづくりが求められており、市民活動をサポートするという使命をとおして、どのようなサービス、事業が必要かの調査研究や情報収集をさらに進める必要があります。

6. 八王子市環境マネジメントシステムへの取り組み

八王子市が取り組んでいる八王子市環境マネジメントシステム(LAS-E第3ステージ=市民・事業者やパートナーシップ組織による環境保全活動)に、支援センターのコーディネート機能や情報発信機能を活かした連携、協働をとおして取り組みました。

評価と課題

環境活動に取り組む団体の活動紹介、情報提供を推進すると共に、多様な団体が、八王子が誇る環境の持続的保全を意識し、住み続けたいまちづくりにつながる活動をサポートすることが必要と考えています。

7. 施設利用状況

交流室	活性化室	フリースペース	コピー機	印刷機	面談相談	来所他	電話相談	電話他	メール相談	メール他
-----	------	---------	------	-----	------	-----	------	-----	-------	------

892	753	3,488	470	188	92	933	86	2,728	51	4,633
970	718	2,067	541	228	69	606	40	2,313	5	4,810

上段:平成28年度、下段:平成27年度 *添付資料参照:「平成28年度施設・会議室利用状況報告」

評価と課題

交流室の利用コマ数は昨年度と比べ78コマ減少、活性化室の利用は35コマ増加しました。10月より、事前予約期間をこれまでの1ヶ月から2ヶ月先まで延長し団体活動の利便性が高まる様配慮しました。その効果はまだはっきりと数字に表れていませんが、今後とも皆さんに利用していただける会議室として工夫していきます。一方で少人数の打ち合わせなどに利用いただいているフリースペースの利用は68%以上増え、予約なしで使用できる利便性が評価されています。

8. 「指定管理者制度」モニタリング実施結果

前年度(平成27年度)支援センターの管理運営に関わるモニタリングで、総合評価は“B”評価となりました。評価概要は、市民満足度調査において引き続き高い満足度を維持していること、「八王子コミュニティ活動応援サイト」の開設準備に当たって蓄積した知見やノウハウの積極的な提供があったこと、平成28年度より着手予定の「ゆめおりファンド」の「人財」支援事業の具体的な準備作業を行ったこと各団体等との連携体制を活かした事業の展開やコーディネート能力などが評価されました。

評価と課題

評価には、市民活動団体の更なる基盤強化と活性化につながる取り組み、スタッフのさらなるスキルアップや施設の利用促進、認知度向上に取り組むことへの期待が含まれています。今後ともニーズや期待に応えられる具体的な事業に取り組んでいきます。

9. 総務部の活動

(1) 相談対応及び専門相談

相談業務は支援センター業務の大きな柱であり、相談者に寄り添い、受け止めるという基本的な考え方のもとスタッフ全員で対応しています。専門相談はNPO経営支援アドバイザー派遣制度の活用やNPO法人との提携により、経理、労務、税務等の相談に対応しています。

評価と課題

面談、電話、メール等による相談内容は、団体法人化のほか、同様の分野で活動する団体同士の連携や情報交換を求めるものがありました。また、大学生の研究グループで、八王子における「協働」に関する調査ヒアリング、NPO団体の情報発信や運営資金調達に関することのほか、助成金とNPO法人設立に関する相談は引き続き多く寄せられています。今後とも必要な情報収集と相談対応のスキルアップに努めます。今年度、窓口相談業務を一步進めた伴走支援事業でもある「人財」支援も2件実績を上げることができました。専門相談ではNPO法人が雇用する職員の社会保険加入など雇用条件の整備や収益事業における税法上の問題などがありました。

(2) スタッフ外部研修(人材育成)

4月11日「子どもたちに寄り添ういじめ虐待非行の現場から」シンポジウム(主催:カリヨンこどもセンター 東京大学 YMCA) / 5月11日「支援力アップ講座1」(主催:東京ボランティア・市民活動センター) / 5月12日「NPO入門講座」(主催:新宿NPO協働推進センター) / 5月23日「クラウド活用講座 Google Apps 編2級(体験編)」(主催:マイクロソフト) / 5月24日「クラウド活用講座 Google Apps 編2級(管理編)」(主催:マイクロソフト) / 5月25日「支援力アップ講座2」(主催:東京ボランティア・市民活動センター) / 7月11日上野、ボランティアコーディネーター基礎研修(主催:日

本ボランティアコーディネーター協会) /7月15日ボランティアコーディネーター3級取得(日本ボランティアコーディネーター協会認定) /7月21日「支援力アップ講座～相談を受ける力～」(主催:東京ボランティアセンター) /9月17日「1DAY プロボノ & プロジェクト成果共有イベント」受講(主催:NPOコミュニケーション支援機構(a-com)) /11月29日「多様な人との協働の進め方支援力アップ塾(支援力アップ講座)」(主催:東京ボランティア・市民活動センター) /1月12日「非営利組織のための第三者組織評価制度説明会」(主催:非営利組織評価センター) /1月28日「第4回地域猫ボランティア勉強会」(主催:立川市環境下水道部環境対策課他2団体共催) /1月28日「第4回地域猫ボランティア勉強会」(主催:立川市環境下水道部環境対策課他2団体共催) /2月12日「市民社会をつくるボランティアフォーラム2017 暮らしの中から 動き出す、創り出す」(主催:東京ボランティア・市民活動センター) /2月26日「多摩コミュニティビジネスシンポジウム2017 まちを元気にするプロデュース力を学ぶ8」(主催:多摩CBネットワーク)

評価と課題

相談対応やコーディネート力向上、効果的な講座開設のため、スタッフのスキルや知識の習得のほか、講座や講師との出会いを積極的に進めました。こうした知見を多様なセンター事業に生かしていきます。

(3) 対外対応

4月度

4月9日「偉人伝読書感想文発表会」(主催:小中学生の教育を考える会)参加 /4月16日「Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会」出席 /4月19日(火)八王子市福祉政策課来館対応 /4月23日「八王子生涯学習コーディネーター会法人格取得祝賀会」出席

5月度

5月12日 八王子市民活動協議会28年度総会出席 /5月19日「拓け！センター元気」出席(主催:センター元気) /5月26日協働推進課とスタッフ懇談会開催 /5月31日7市・市民活動連絡会出席(西東京市)

6月度

6月 3日東京ボランティアセンター・センター長会議参加 /6月 7日防火管理者会議 /6月12日「刀匠重利」佐藤利美氏工房訪問 /6月21日フードバンク(8beat)立ち上げ取材 /6月21日大学生インターン受入れ打合せ(法政大学多摩地域交流センターなど) /高齢者福祉課「常設サロン補助制度説明会」出席 /フードバンク(8beat)立ち上げ取材 /6月25日「Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会」出席

7月度

7月 5日 下関市まちづくり支援課・(一般財団)地方自治研究機構、来館対応 /7月10日「市民活動フェスティバル」開催 /7月12日～14日柵田中学校職場体験受入れ /7月13日「地域参加支援に関する情報交換会」出席 /7月19日「多摩ら・び完成披露会」参加 /7月20日「ケアコミュニティはちカフェ」参加 /プロボノ1Day チャレンジ対応(東京ホームタウンプロジェクト事務局) /7月24日「子ども企画委員学習会」参加(子どものしあわせ課)

8月度

8月9日サービスグラント訪問 /8月24日指定管理モニタリング対応 /8月26日市からのインターンシップ(大学生3名)受入れ対応 /8月29日片倉台福祉ネットワーク訪問(東京家政大学)野山教授からの要請で大森事務局長をご紹介

9月度

9月2日「東京ボランティアセンター長会議」出席 / 9月4日オトパ in 南大沢 2016 出展(人財支援・はちコミねっとなどPR) / 9月10日「Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会」 / 「第8期はちおうじ志民塾入塾式」出席 / 9月15日(株)アセットメイク訪問 / 9月23日まつど市民活動サポートセンター訪問 / 9月29日「NPOの持つ可能性と、現在の課題」(認定NPO法人まちぽっと主催)出席 / 9月20日防火管理者点検対応

10月度

10月6日「センター元気ボランティア入門講座」講師派遣 / 10月11日「NPOの最前線から市民社会の未来を考える」フォーラム参加 / 10月12日「おとなのお手玉遊び大会」出席挨拶 / 全館防火会議に出席(11月11日全館避難訓練) / 10月13日新宿区NPO協働推進センター訪問 / 10月14日センター元気「いきいき活動展」見学 / 10月14日協働推進課訪問(商工会議所関係の会議室受け入れ条件確認) / 10月19日西武信用金庫訪問 / 10月20日協働推進課モニタリング来館対応 / 10月22日「キャンドルリバー」見学 / 10月26日横浜市市民活動支援センター訪問 / 10月28日さがみはら市民活動サポートセンター訪問 / 10月30日「八王子ボランティアネットワーク15周年記念式典」出席

11月度

11月10日(八王子市福祉部生活自立支援課専門幹)遠藤氏来館対応 / (八王子市都市計画部土地利用計画課)倉田主査来館対応 / (八王子市総合経営部広聴課)濱中主査来館対応 / 西武信金八王子支店訪問 / 11月11日協働推進課、7~9月度モニタリング対応 / 11月16日100周年事業推進室、協働推進課を訪問 / (創価大学総合学習センター特別センター員)高橋氏来館対応(大学との連携・協働に関わる意見交換) / 11月17日ひらつか市民活動センター訪問 / 11月20日「たままち日和」(法政大学多摩交流センター)・寺田団地訪問 / 11月21日 きよぴー&とまと訪問(東京家政大学・野山教授から同行依頼)

12月度

12月4日「Dr.肥沼顕彰碑建立のためのチャリティーイベント」参加 / 12月11日「支え合いと交流が街をつくる~第7回共助のまちづくりシンポジウム~」(共催:八王子市民活動協議会・八王子自治研究センター)参加 / 12月14日「7市・市民活動情報連絡会」(小平あすぴあ)出席 / 12月19日西武信金八王子支店訪問 / 12月23日藤沢市民活動推進センター開館15周年事業「いままでとこれから」参加 / 12月28日八王子市民活動推進部来館対応

1月度

1月5日(株)八王子薬剤センター訪問 / 1月12日西放射線通り商店街振興組合訪問 / 1月13日(株)アセットメイク訪問 / 1月17日北原国際病院来館対応 / 1月19日「地域参加支援に関する情報交換会」(幹事:社協)参加 / 1月20日創価大学総合学習センター特別センター員)高橋氏来館対応(大学との連携・協働に関わる意見交換) / 八王子市役所訪問 / 1月26日LAS-E監査対応 / 1月27日「第2回地域包括ケアシステムシンポジウム」出席 / 1月28日「八王子市民活動協議会新年交流パーティー」出席

2月度

2月3日「東京都南多摩保健医療圏地域保健医療福祉フォーラム」聴講 / 2月4日東京ホーム

タウン大学にて「ファンド人財」の発表報告 / 2月4日「八王子市消費生活フェスティバル」見学 / 2月5日小津倶楽部（小津町）訪問 / 2月9日創価大学岩川幸治講師来館対応 / 2月11日「志民塾卒塾式」出席 / 2月17日「東京ボランティアセンター・センター長会議」参加

3月度

3月9日福山市まちづくりサポートセンター来館対応 / 消防設備点検対応 / 3月11日「第18回オトパ」出展参加 / 「プロボノチャレンジ報告会 in 川崎」参加 / 3月15日創価大学文学部副学部長来館対応 / 3月24日八王子市役所 / 西武信用金庫八王子支店訪問 / 3月26日「H28八王子シニアカレッジ第6期」講師派遣 / 3月29日八王子市役所訪問

評価と課題

支援センターは、来館の方々に必要な対応をすると同時に窓口や電話対応だけでなく、積極的に現場に足を運び、様々な方々や団体との交流により、ネットワークづくりや連携、協働の基礎づくりを進め、支援センターのコーディネート力向上や支援センター認知度アップを図りました。

(4) 施設内備品の整備

支援センター利用者のサービス向上やスタッフ事務の効率化のため各種備品等を購入しました。

カー液晶モニター 1台 / デスクトップPC 1台 / ハンディースピーカー1台 / 掃除機 1台

評価と課題

今後とも、予算措置を施しながら、市民や団体の活動の場、交流の場、作業の場としての機能充実を図り、またスタッフ事務の効率化を推進していきます。

(5) 図書・資料の充実

市民活動の情報センターとして様々な書籍、資料を配架し、閲覧、貸し出しを通して活動や研究の参考にしていただいておりますが、今年度も約30冊の書籍の購入や寄贈を受け、図書コーナーに配架しました。主な書籍は下記のとおりです。

「遺贈寄附ハンドブック」日本ファンドレイジング協会発行 / 「NPOのためのマーケティング講座」長浜洋二著 / 「場作りの教科書」長田英二著 / 「とんとんむかし一語ろう！八王子むかし話一」高尾山とんとんむかし語り部の会発行 / 「数え上げた浅川流域の野鳥Ⅲ」八王子・日野カワセミ会発行

評価と課題

今後とも予算措置を施しながら、ニーズや社会背景に対応した図書・資料をそろえ、市民活動の情報センターとしての機能を果たしていきます。

10. 広報部の活動

広報部は、ただ市民活動団体の活動を市民の方々に紹介するだけでなく、社会を取り巻く様々な課題をタイムリーにとらえて、そうした活動の中から市民や多様なセクターが、気付きや連携の糸口を得、まちづくりや地域参加のための市民力、地域力向上に貢献できることも大きな狙いの一つとして広報紙「SUPPORT802」を中心に情報発信を行っています。

(1) 広報紙「SUPPORT802」

1) 紙面の体裁

①多くの方に手にとってもらえる紙面づくりをめざし、スタッフだけでなく外部スタッフとの意見

交換や協働推進課のアドバイスなどを受け、紙面にメリハリをつけた内容を心がけました。イベント情報は、できる限り希望団体の要望に応えるよう、対応しました。

②1面は取材記事、2面は1面の関連記事、3面は希望する団体から掲載、助成金情報、4面はアクティブ市民塾、団体イベント、ボランティア情報という紙面のスタイルで編集しました。

2) 紙面の内容

①「地域包括ケアシステム」を1年間のテーマとし、高齢者、子ども、貧困など様々な視点で取り上げました。

②地域の課題を自分のこととして考え、活動するきっかけに繋がるよう心がけました。

③支援センター事業の情報部では「はちコミねっと」、啓発部では「NPOパワーアップ講座」、ファンド部では「人財支援」事業に関する記事を取り上げ、各部と連携することでセンター機能としての総合力発信に心掛けました。

④活動を始めたばかりの団体や掲載を希望する団体の活動を紙面で取り上げ、活動を応援しました。

【評価と課題】

広報紙「SUPPORT802」の記事が八王子市議会で、地域課題についての質疑の中で参考資料で取り上げられるなど多様な方々に手に取って頂いています。今後とも、様々な工夫を加え、支援センター広報紙の使命を果たしていきます。

また、広報紙作成はライターとしてのスキルや取材力も求められるため、これからの人材養成や人材募集の課題を検討していきます。

(2) メールマガジン「八王子市市民活動支援センターSUPPORT802 だより」

掲載内容は、「巻頭言」、「アクティブ市民塾」、「助成金情報」、「イベント情報」、支援センター、八王子市民活動協議会、八王子市からの情報を毎月初めに発信しています。特に、「巻頭言」では、その時々タイムリーな話題や、広報紙 SUPPORT802 と連動するなど個別の情報発信にとどまらず、興味を持って読んでいただく入口の言葉として位置付けています。

また、個人では入手しにくい市外の多様な活動も知っていただくことで、個人や団体の活動の幅を広げていただくことも期待しています。

【評価と課題】

情報通信機能を活かした毎月1回の発信ということで、今後ともタイムリ-で紙ベースの広報紙「SUPPORT802」を補完するツールとして充実した内容を目指します。

11. 啓発部の活動

今年度も様々な市民活動団体の活性化、運営基盤の強化、自立支援そして、市民への理解や地域参加のきっかけづくりを目的に多様なイベント、講座を実施しました。

(1) アクティブ市民塾

アクティブ市民塾は今年度より2ヶ月に1回の開催としましたが、平成15年の初回より累計160回の開催となりました。このアクティブ市民塾は、初めて参加する方が多く、NPO や市民活動そして当センターを知っていただく効果的な機会になっているとともに、団体にとっては、その活動を見直すきっかけとしても有効なイベントとして評価をいただいています。また、開催手法はできるだけ「現場主義」を大切にし、実際の活動場所、フィールドで行う事でより団体の実態を知ることができ、臨場感、親近感を持って体験していただくよう工夫をしています。

月日	分野	団体名	タイトル	定員	申込 人数	参加 人数
5月20(金)	国際	高尾山英語ボランティア ガイドクラブ	高尾山を英語でガイドしてみませ んか？	20	66	22
7月27(水)	文化	おりがみ・さくら	親子で折り紙作品を作ろう！	20組	27組	26組 63名
9月24(土)	環境	一般社団法人 八王子協同エネルギー	電力自由化ってなに？ 自然エネルギーってなに？	20	15	13
12月3(土)	環境	多摩・八王子江戸 東京野菜研究会	希少八王子の伝統野菜 高倉ダイコンをあじわう	20	40	31
1月31(火)	子ども	特定非営利活動法人地 域の子どもは地域で育て る・てとて	フェルト作品を作って子どもの支援 ～若者とシェアハウスの現状を知る ～	20	18	15
3月1(水)	福祉	あったか生活設計	いつかくる介護と認知症とそれを支 える社会のしくみ	20	45	27
合計6回開催(前年度12回開催)						171 (410)

【評価と課題】

今年度から年間6回開催としたことで、団体の普段の活動に合わせて、その前後に打ち合わせを行うなど、団体の負担を軽減し、かつ事前に団体の代表の方だけではなく会員の皆さんとも交流をすることで、会全体としてアクティブ市民塾に主体的に関わっていただく効果を確認できました。今後とも紹介団体と事前の打ち合わせを密にし効果的な講座としていきます。

(2) 市民活動支援講座

1) NPOパワーアップ講座

①キックオフイベント

開催日	テーマ	講師	参加 人数
8月30(火)	・NPOの原動力、ミッションとは？ ・魅力あふれる八王子を作る事業と組織を育てるには？	・山岡義典さん (法政大学名誉教授、日本NPOセンター顧問) ・川北秀人さん (IHIOE[人と組織と地球のための国際研究]代表者)	28

②連続講座

開催日	テーマ	講師	参加 人数
9月10(土)	メンバーの増やし方とやる気の育て方	呉哲煥さん(NPO法人CRファクトリー代表理事)	15
10月7(金)	誰もが納得できる会議の進め方	長田英史さん(NPO法人れんげ舎代表理事)	18

11月12(土)	使いこなそう！SNS	・吉田恭子さん(NPO 法人エンツリー 理事長) ・相良恵子さん(株式会社情報試作室 代表取締役)	12
12月10(土)	人が集まる講座とチラシの作り方	坂田静香さん(NPO 法人男女共同参画おおた 理事長)	29
1月14(土)	支援者とより良く繋がるための ファンドレイジング	横田純次さん(認定 NPO 法人 育て上げネット事業戦略室)	10
2月11(土)	審査員の視点から学ぶ 助成金申請書の書き方	小堀悠さん(NPO 法人 NPO サポートセ ンター事務局長)	21
合計 7 回開催(前年度 8 回開催)			133 (140)

【評価と課題】

NPOパワーアップ講座は今年度、連続講座に誘引する目的でキックオフイベントを開催するとともに、連続受講を緩和して個別のテーマのみの受講も可能にしました。結果として、キックオフイベントを合わせると総計 39 団体延べ 133 名の方に参加していただきました。

また、講座では、ワークショップなどもあることから、支援センターの狭い会議室では充分ではなく、できるだけ多くの方に参加いただくために学園都市センターやクリエイティブホールなど外部会場を使用せざるを得ず、支援センター利用率向上には寄与できませんでした。

2) 交流会

開催日	テーマ	参加者数
9月18日(日)	食事の提供を通し子どもの居場所作りに関心のある団体の交流と情報交換	8 団体 21 名
参加団体		
<ul style="list-style-type: none"> ・はちおうじ子ども食堂(創価大学学生)・・・2名 ・ほっこり食堂(主任児童委員)・・・2名 ・こすもす・だれでも食堂(こすもす・だれでも食堂実行委員会)・・・2名 ・光明第一保育園(検討中)・・・2名 ・NPO 法人八王子つばめ塾(無料学習塾を運営)・・・1 名 ・フードバンク八王子・・・1 名 ・フードバンク八王子えがお・・・2 名 ・子どもの居場所どんぐり分校・・・1 名 ・調理師(個人)・・・1 名 ・八王子市 子どものしあわせ課、生活自立支援課、総合経営部・・・4 名 ・支援センター・・・3 名 		

【評価と課題】

格差社会、貧困の連鎖が社会的にも注目される中「こども食堂」や「無料塾」といった子どもの居場所作りに取り組んでいる、関心がある団体の交流会を行いました。こうした取組みは八王子では新しい分野でもあることから、関係の方々、団体が情報や連携を求められており、多くの評価

の意見をいただきました。今後とも、多様な交流会を企画し、ネットワーク作りや連携にのサポートをしていきます。

3) 団体支援講座

開催日	テーマ	講師	定員	申込人数	参加人数
2月17日(金)	初心者向け NPO 法人の決算！	公認会計士・税理士 内藤 純さん	10	16	16

【評価と課題】

年度計画で「NPOめぐりツアー」として計画した講座は、ある団体の地域の居場所作りを支援し、その過程で、他市の先進事例を見学するツアーを行う予定でした。しかし、対象の団体が常設サロン支援金を得たこともあり、自力で地域との交流を深め、支援センターの支援なく地域の居場所ができつつあるということで計画の見直しを行い、「NPO法人の決算」の講座としました。これは、アンケートやヒヤリング等でセンターを利用する団体の声を反映して企画し、3月に年度末を迎えるNPO法人が多いことからタイムリーな時期にタイムリーな講座を届ける目的で開催し高い評価をいただきました。

(3) 市民活動実践講座

1) スキルアップ講座

開催日	テーマ	講師	定員	申込人数	参加人数
6月25日(土)	プロに聞く広報のコツ「実践編」チラシを見る側に立って考えよう	横尾嘉信さん (株)横尾嘉信事務所	50	49	45

【評価と課題】

広報のコツ「実践編」は実際にチラシを作成する際のポイントを解説する講座を実施しました。今回は、他者作成のチラシを題材にワークを行うことで客観的な視点に立つことができ、グループ毎に修正版チラシを作成することで、自ら作成する難しさを体験する実践的な講座となりました。

12. 情報部の活動

(1) ホームページの維持・更新

平成28年3月に【はちコミねっと】がオープンし、市民活動団体が市民に向けてリアルタイムにアピールする環境が整ったのに伴い、支援センターのホームページコンテンツから【はちコミねっと】と重複する機能を外し、主に市民活動団体に向けた支援情報に改造を行いました。支援センターのホームページには主にセンター主催のイベントや講座のコンテンツをアップロードし、市民や市民活動団体にアピールするようにしました。また、サーバーの維持管理においては、ドメイン更新作業漏れがあり、サーバーにアクセスできない事故が発生しましたが、緊急で対処し、サーバー管理者と再発防止策を確認しました。

【評価と課題】

これまで部分改造を重ねてきたため、欲しい情報へのパスが複雑化しており、重要なデータへ分かりやすく誘導できるコンテンツの階層構造へ変更する必要があります。また、レンタルサーバー「Speever」を、セキュリティ面の問題で変更することを検討しましたが、改善効果が不明

なため見送りました。今後とも八王子市の方針も参考にしながら引き続き検討していきます。

(2)【はちコミねっと】の活性化

投稿型のコンテンツサイトは、継続的な活性化施策を実施しないと急速に衰退し実質停止したサイトになる傾向にあります。課題としては、コンテンツの量とタイムリーな変化を要求されるサイトは、開発時と同等の運営パワーを継続して投入していく必要があります。はちコミねっとでは、多くのコンテンツが常時アップロードされ、団体にも市民にも有益なサイトと認識されるサイトになるよう団体向け定期操作方法講習会を年間12回開催し、48団体の参加を得ることができました。また、コンテンツアップロード活性化施策として、広報紙「SUPPORT802」への紹介記事掲載、及びFacebook等で紹介すると共に、オトパやWAMシンポジウム等でチラシ掲示、配布を行いました。

【評価と課題】

「はちコミねっと」は民間業者が提供する「元気 365」システムを使った他自治体サイトに比べ活性化しているサイトですが、衰退の防止、さらなる活性化に向けて、定期的な操作方法講習会に加えて、こちらから団体に出向く形の普及活動など、途切れのない活性化策を検討していく必要があります。

(3)職場内 ICT 環境の整備

業務遂行の ICT 環境は今年度はデータ保全およびセキュリティ強化を中心に各施策を実施しました。データ保全に関しては①重要なデータ、過去のデータなどを区別し、データ保存体系を整備、②業務データのディスククラッシュ対策として RAID 構造の導入、自動バックアップの仕組みを整備しました。セキュリティ関連は市からの指示事項を遵守し、デバイスロックやセキュリティソフト導入、検知されたウイルスメールや詐欺メールへの対処方法をスタッフへ教育を行いました。

【評価と課題】

まだいくつかの PC が低スペックであるため、業務に見合った性能レベルまで上げることと、2020年1月に保守が打ち切りとなる Windows7PC の入れ替えを検討していきます。

13. ファンド部活動

(1)物支援

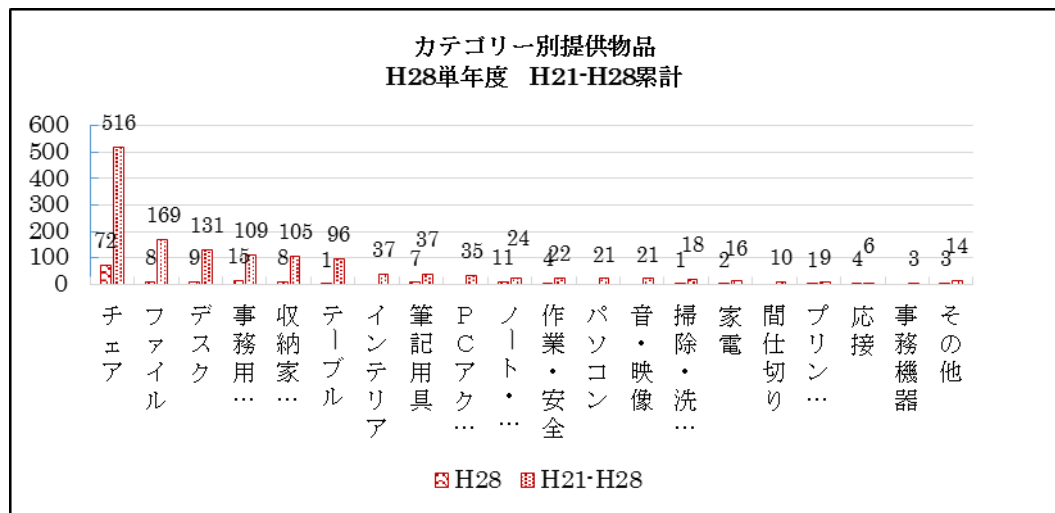
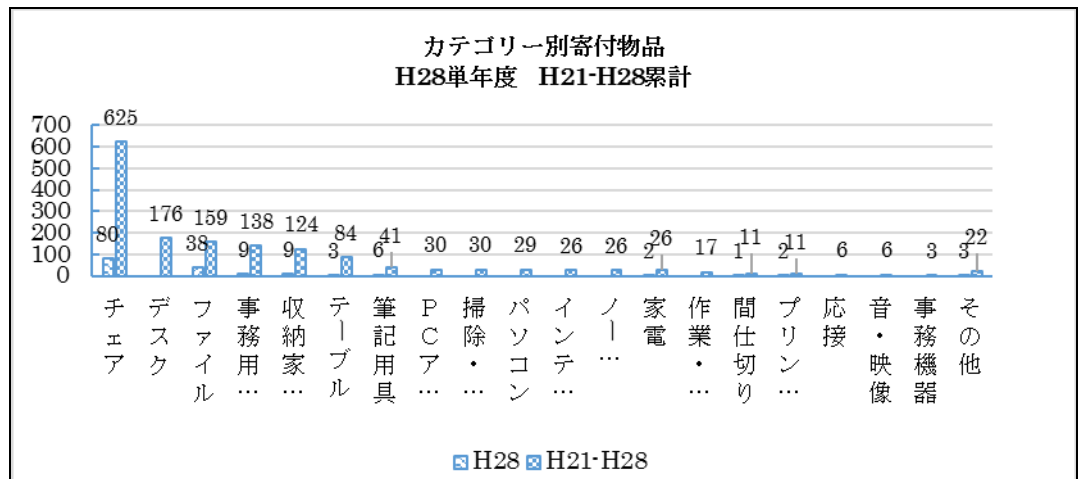
物品の支援に関しては、引き続き寄付企業の開拓のため、ゆめおりファンドへの参加団体を獲得すべく、企業や団体への訪問を行い、また、既参加団体対しては、CANPAN団体の情報更新を促進する計画を立案いたしました。

寄付・提供物品数量推移 (個)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	累計
物品寄付	156	445	366	123	37	487	334	150	2098
物品提供	21	130	295	241	164	508	80	143	1582

寄付・提供件数推 (件)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	累計
物品寄付	9	6	8	6	13	23	5	9	79
物品提供	34	26	20	36	13	32	22	14	197



【評価と課題】

プロボノによる人財支援を最優先事項として対応したため、物品の支援は、寄付先開拓、寄付物品の増加を十分達成できませんでした。物品の寄付は件数では減少傾向にありますが、団体への提供についてはほぼ例年通り達成できました。今後とも、寄付と提供を維持すべく企業訪問や団体のCANPAN登録を促進していきたい。

(2) 人財支援

今年度、ファンド事業の次のステップとしてスタートした人財の支援事業は認定NPO法人サービスگرانや東京都福祉保険局の東京ホームタウンプロジェクトの伴走支援を受けました。プロボノの現場をオブザーブするところから始め、次いで、プロボノに対する基本的考え方、マネジメント手法、プロボノワーカーの選び方、チームのつくり方、支援先団体ヒヤリング、プロボノプロジェクト運営手法、ノウハウを学び、これをベースにワーカーの募集で12名の登録をいただき、2団体の伴走支援を実施し、成果報告会を開催することができました。

1) 支援メニュー

- ①ポスター・チラシ製作 ②経理・事務改善 ③営業資料ブラッシュアップ ④ウェブサイト・SNSの活用

2) 支援実績

①経理業務の効率化:経費処理の流れを効率化することで、スタッフの事務作業負荷を軽減するとともに、寄付金・寄贈品等の支援者、行政等に対して、団体の活動状況をより明確に説明できるようにする。

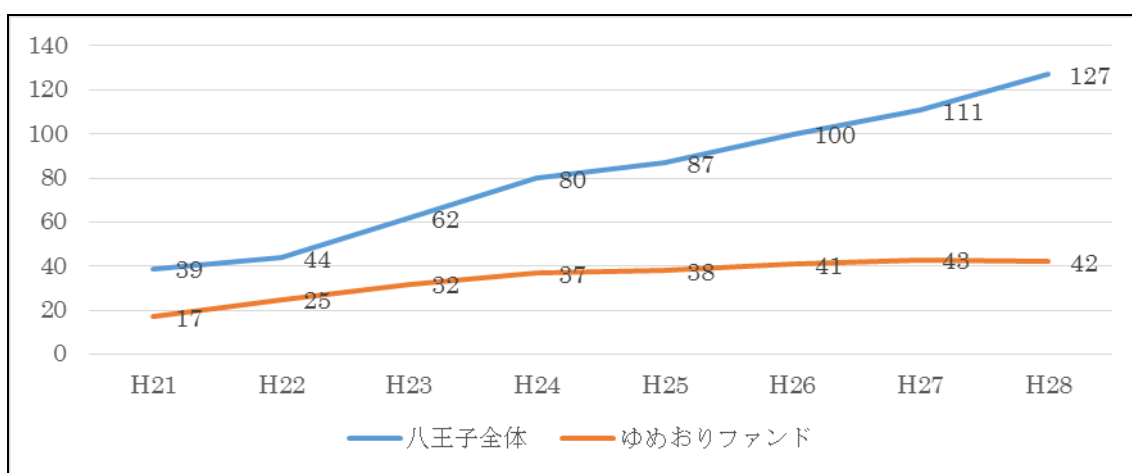
②フェイスブックページの構築:団体ミッションの達成に向け、多様な方々との相互理解と情報共有の輪を広げていくため、フェイスブックの構築と効果的な活用をすること。

【評価と課題】

今後の人財支援の効果的な事業推進のために取り組むべき課題として、ワーカー登録者の増加促進、団体課題の抽出などがあります。次年度の計画に具体的目標を定め活かしていきます。

(3) CANPAN団体情報

1) ゆめおりファンド参加団体とCANPAN登録八王子の団体の推移



2) ゆめおりファンド参加団体とCANPAN登録八王子の団体の開示レベル

八王子のCANPAN登録団体は昨年より16団体増の127団体、その33%に42団体(+多摩草むらの会)が対象団体です。

★★★以上の情報開示意識の高い団体「ゆめおりファンド」認証団体となっている団体は46%と昨年73%より低くなっています。

情報開示レベル	ゆめおりファンド	八王子全体
★★★★★	1	4
★★★★	5	9
★★★	1	2
★★	6	20
★	29	92
計	42	127

以上